

両生類・は虫類の特徴

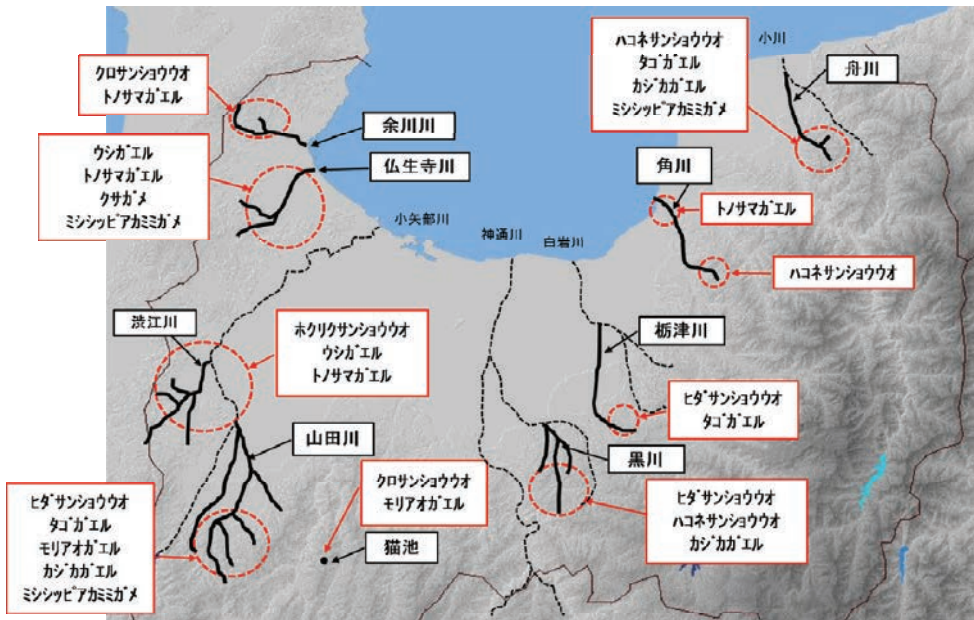


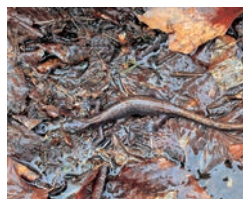
図1 各河川流域に出現した両生類・は虫類

県内で記録されている両生類は2目19種で、有尾目が6種、無尾目が13種である(表1)。また、は虫類は2目17種で、カメ目が6種、有鱗目が11種である。この中には、外来種のウシガエル、ミシシippアカミミガメ、カミツキガメ、ワニガメが含まれている。日本のクサガメは江戸時代に大陸から入ってきたらしい。県内の平野部の水田を代表する両生類はニホンアマガエル、トノサマガエル、ツチガエルであり、低山の集落周辺の水田ではニホンアカガエル、ヤマアカガエル、シュレーゲルアオガエルである。谷川ではハコネサンショウウオ、ヒダサンショウウオ、タゴガエル、カジカガエルが代表的なものである。ため池にはクロサンショウウオ、モリアオガエルが産卵し、水中にはアカハライモリが生息している。一方、は虫類ではクサガメが平野部の流れの緩い川や低山のため池に生息する。また、平野部を代表するものはアオダイショウとシマヘビである。山地では平野部のヘビに加えヤマカガシやニホンマムシ、ニホンカナヘビ、ヒガシニホントカゲがあげられる。今回の調査地は平野部から低山までで、確認された両生類は、有尾目が5種、無尾目が11種、は虫類はカメ目が4種、有鱗目が9種であった。

調査の結果、両生類では県東部と県西部で違いが見られた。急峻な地形をもつ県東部の流域では、溪流周辺に生息するハコネサンショウウオ、ヒダサンショウウオ、タゴガエル、カジカガエルがよく見られた。県西部の山田川も上流は急峻で、県東部と同じような両生類が見られた。一方、山田川を除く県西部の流域の源は、標高の低い山地であることから、溪流の代表的な両生類は谷川で見られたヒダサンショウウオくらいであろう。平野部では水田を代表するトノサマガエルが、低山にはニホンアカガエルがよく見られた。また、県西部にはため池が多く、このような場所を産卵場所や生息地にしているクロサンショウウオ、ウシガエル、ツチガエルがよく見られた。今回、生息が確認できなかったハクバサンショウウオ、ナガレヒキガエル、ナガレタゴガエルは、いずれもやや標高の高い山地に生息し、いずれも県の絶滅危惧種に指定されているように生息場所が限定的なために発見できなかったのであろう。



クロサンショウウオの雌(上)と雄(下)



ハコネサンショウウオ



モリアオガエル

は虫類は富山県の平地や山地にすむ代表的なものが確認された。トカゲやヘビは県東部と県西部ではあまり変わらないと思われるが、水中にすむカメ類は、ため池や緩やかな流れの多い県西部ではよく見られた。在来種のニホンイシガメは1河川でしか見られず、県内では極めて貴重な生息地であり保全が必要である。県内の生息状況がよく分かっていないニホンスッポンは2河川流域で見られ、特に仏生寺川下流は流れが緩く、底質が泥のためスッポンの良好な生息環境と言える。一方、外来種のミシシippアカミミガメは県東部での記録は少ないものの県内の池や川に広く生息していることがわかった。特に仏生寺川水系で多く確認され、天然記念物のイタセンパラへの影響が懸念される。ニホンカナヘビやヒガシニホントカゲは、山麓や山地でよく見られた。ヘビでは、低山でアオダイショウ、シマヘビ、ヤマカガシがよく見られ、特にヤマカガシは林道でよく目撃された。時々ニホンマムシやヒバカリも見られ、ジムグリは目撃は少なかった。一方シロマダラは1か所のみで記録され、タカチホヘビは今回目撃できなかった。ともに県の準絶滅危惧種に指定されているヘビで、県内の生息数は少ないものと思われる。

表1 各河川ごとの両生類・は虫類の出現状況

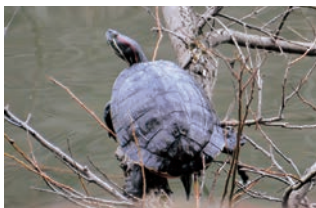
両生類		科	和名	生息場所				余山川	仏生寺川	洪江川	山田川	黒川	柳津川	角川	舟川
目	種数			平地	低山	山地	高山	(水見市)	(水見市)	(小矢部市)	(南砺市)	(富山市)	(立山町)	(魚津市)	(入善町)
				2008	2012	2010	2014	2013	2009	2007	2011				
有尾目	サンショウウオ科	クロサンショウウオ	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	
		ハクバサンショウウオ			○										
		ヒダサンショウウオ			○	○			●	●	●	●			
		ホクリクサンショウウオ			○				●					●	
		ハコネサンショウウオ			○	○					●	●	●	●	
イモリ科	アカハライモリ	○	○	○		●	●	●	●	●	●	●	●		
無尾目	ヒキガエル科	ナガレヒキガエル			○										
		アズマヒキガエル	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	
	アマガエル科	ニホンアマガエル	○	○	○		●	●	●	●	●	●	●	●	
		アカガエル科	タゴガエル	○	○	○				●	●	●	●	●	
		ナガラタゴガエル			○										
		ニホンアカガエル	○	○	○		●	●	●	●	●	●	●	●	
		ヤマアカガエル	○	○	○		●	●	●	●	●	●	●	●	
		ウシガエル*	○	○			●	●	●	●	●	●	●	●	
		ツチガエル	○	○	○		●	●	●	●	●	●	●	●	
		トノサマガエル	○	○			●	●	●	●	●	●	●	●	
アオガエル科	シュレーゲルアオガエル	○	○			●	●	●	●	●	●	●	●		
	モリアオガエル		○	○		●	●	●	●	●	●	●	●		
	カジカガエル					●	●	●	●	●	●	●	●		
種数		19	9	16	14	4	11	10	12	14	11	12	13	13	

は虫類		科	和名	生息場所				余山川	仏生寺川	洪江川	山田川	黒川	柳津川	角川	舟川
目	種数			平地	低山	山地	高山	(水見)	(水見)	(小矢部)	(南砺)	(富山)	(立山)	(魚津)	(入善)
				2008	2012	2010	2014	2013	2009	2007	2011				
カメ目	イシガメ科	クサガメ	○	○			●	●						●	
		ニホンイシガメ	○	○					●						
	ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ*	○					●						●	
	カミツキガメ科	カミツキガメ*													
	ワニガメ*														
有鱗目	スッポン科	ニホンスッポン	○					●						●	
	ヤモリ科	ニホンヤモリ	○												
	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ		○	○		●	●		●		●	●		
	カナヘビ科	ニホンカナヘビ	○	○	○		●	●	●	●	●	●	●	●	
		タカチホヘビ科	タカチホヘビ		○	○									
	ナミヘビ科	ジムグリ			○	○		●			●				
		アオダイショウ	○	○	○		●	●			●		●		
		シマヘビ	○	○	○		●	●	●	●	●	●	●	●	
		ヒバカリ	○	○			●	●	●	●	●				
		シロマダラ		○	○			●							
ヤマカガシ		○	○	○		●	●	●	●	●		●	●		
クサリヘビ科	ニホンマムシ		○	○				●	●		●	●	●		
種数		17	10	12	9	1	7	10	6	6	6	4	6	6	

*外来種



クサガメ(左)とニホンイシガメ(右)



ミシシippアカミミガメ



ニホンマムシ

両生類・は虫類